

新教育課程の実施に向けて！ No.7

— 新教育課程説明会より【小学校 算数・中学校 数学】 —

新学習指導要領の理念や基本的な考え方を基に、各学校、各教室で学習が展開されていくためには、改訂の内容について全教職員が正しく理解していることが不可欠です。今号では、小学校算数、中学校数学について、改訂のポイントを掲載します。小学校から中学校への学びの系統性を踏まえた指導に向けて、各学校で周知をお願いします。

改訂の要点と教科の目標 (下線部を追加) 【小学校】

要点1
算数的活動を通して行う

要点2
見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てる

要点3
進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる

教科目標
算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

【中学校】

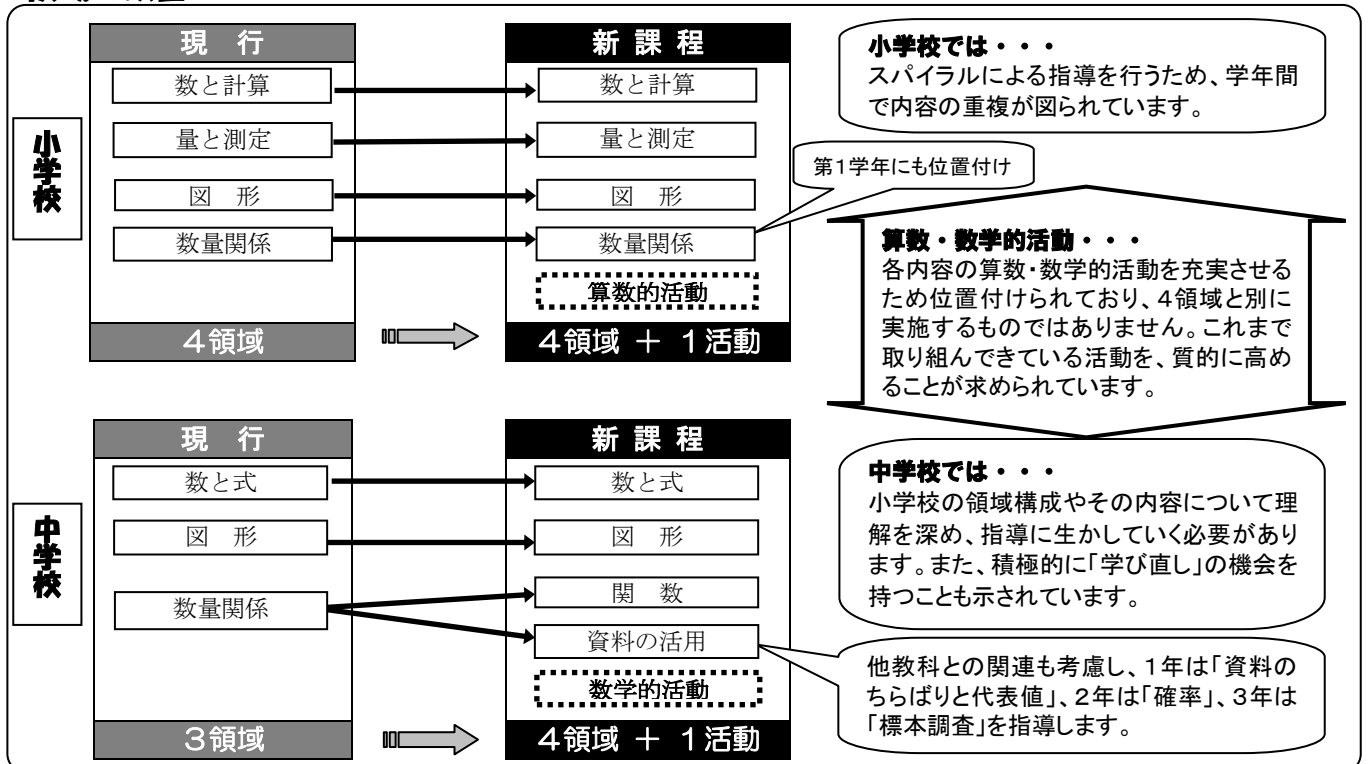
要点1
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感することができるようにする

要点2
事象を数理的に考察し表現する能力を高める

要点3
活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる

教科目標
数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

領域の改善



授業時数と指導内容の変更

時間（週当たりのコマ数）

小学校	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
現 行	114 (3.4)	155 (4.4)	150 (4.3)	150 (4.3)	150 (4.3)	150 (4.3)
平成21年度～	136 (4)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	175 (5)	175 (5)

中学校	現 行	平成21年度		平成22・23年度		平成24年度 新課程
第1学年	105時間 (週3コマ)	140時間（週4コマ） 追加・・・数の集合と四則計算の可能性・大小関係を不等式で表すこと・簡単な比例式を解くこと・ 平行移動・対称移動・回転移動・球の表面積と体積・投影図・関数関係の意味・資料の活用 省略・・・なし				140時間 (週4コマ)
第2学年	105時間 (週3コマ)	105時間（週3コマ） 追加・・・なし 省略・・・円周角と中心角の関係				105時間 (週3コマ)
第3学年	105時間 (週3コマ)	105時間 (週3コマ)	140時間（週4コマ） 追加・・・解の公式を用いた二次方程式の解法・二次方程式の取扱い・相似な図形の 面積比と体積比・円周角と中心角の関係・いろいろな事象と関数・標本調査 省略・・・なし			140時間 (週4コマ)

算数と数学の領域間の連携

小学校算数の領域と主な内容		中学校数学の領域
A 数と計算	・数の概念 ・整数、小数、分数の計算	A 数と計算
B 量と測定	・重さ、速さなど生活に必要な量と測定 ・長さ、面積、体積など図形の計量	B 量と測定
C 図形	・図形の性質	A 数と計算
D 数量関係	・□、△、α、Xなどを用いた式 ・伴って変わる数量の関係 ・比例、反比例	C 図形
	・場合の数 ・資料の整理	D 数量関係

指導の場面で・・・

【小学校】

① 継続的な指導や学年間の円滑な接続を図る

- ◆各学年の内容は、次の学年以降でも必要に応じて継続して指導する。
- ◆数量や図形についての基礎的な能力の習熟や維持を図るため、適宜練習の機会を設けて計画的に指導する。
- ◆学年間の指導内容を円滑に接続させるため、適切な反復による学習指導を進める。

② 領域間の指導の関連を図る

- ◆各学年の内容の「A数と計算」、「B量と測定」、「C図形」、「D数量関係」の領域間の指導の関連を図る。

③ 算数的活動を通して指導する

- ◆各学年の内容の「A数と計算」、「B量と測定」、「C図形」、「D数量関係」に示す事項については、算数的活動を通して指導するようにする。

算数・数学的活動の質を高める
授業の工夫・改善を！

【中学校】

① 積極的に学び直しの機会を設定する

- ◆新たな内容を指導する際、既に指導した関連する内容を意図的に再度取り上げることにより、生徒の理解を深めたり広げたりするのに有効な場合には、積極的に学び直しの機会を設ける。

② 数学的活動の一層の充実を図る機会を設ける

- ◆数学的活動を楽しみ、数学を学習することの意義や必要性を実感する。
- ◆見通しをもって数学的活動に取り組み、振り返る。
- ◆数学的活動の成果を共有する。

③ 課題学習を位置付ける

- ◆課題学習…各領域の内容を総合するなど、見いだした課題を解決する学習として位置付ける。
- ◆各学年で指導計画に適切に位置付けることにより、生徒の数学的活動への取組を促す。